



MacBook Air 13インチ Early 2017 デュアルマイ クロフォンの交換

このガイドを参照して、MacBook Air 13インチ Early 2017...

作成者: Adam O'Camb



はじめに

このガイドを参照して、MacBook Air 13インチ Early 2017 デュアルマイクروفオンを交換します。

 ツール:

- P5 ペンタローブネジ用ドライバー (Retina MacBook Pro/Air用) (1)
- T5トルクスドライバー (1)
- スパッジャー (1)

 部品:

- MacBook Air 13" (Mid 2013 to 2017) Microphone (1)

手順 1 — 下部ケース



❗ 作業を始める前に、MacBookの電源を落として下さい。ディスプレイを閉じ柔らかい表面の上に置いてください。

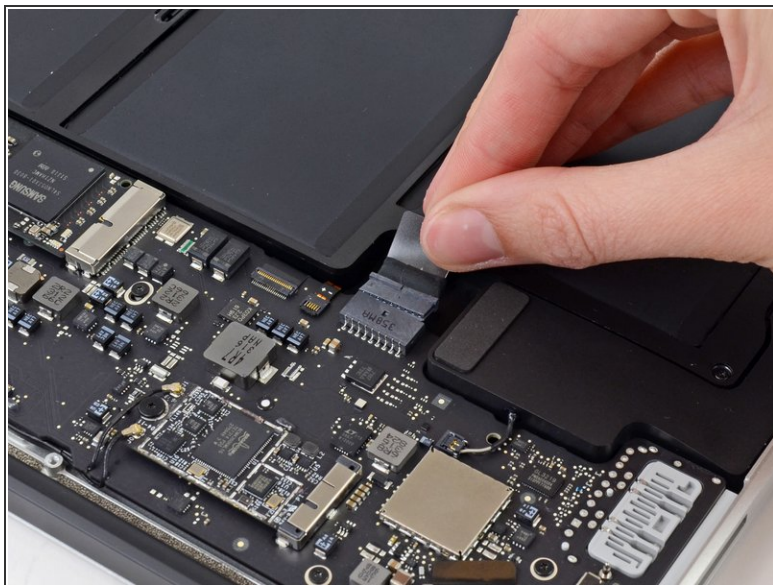
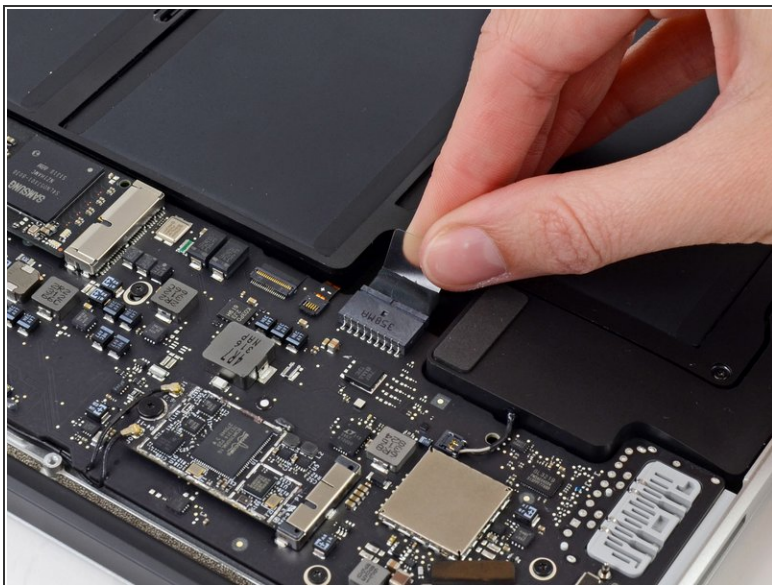
- [P5ペンタローブドライバー](#)を使って、下部ケースをはずしてください。ネジは次の長さに分かります。
 - 9mm ネジ 2本
 - 2.6mm ネジ 8本

手順 2



- ディスプレイと下部ケースの間に指を入れ、上に引っ張って下部ケースを本体から外します。
- 下部ケースを取り外して脇に置きます。

手順 3 — バッテリーコネクタ

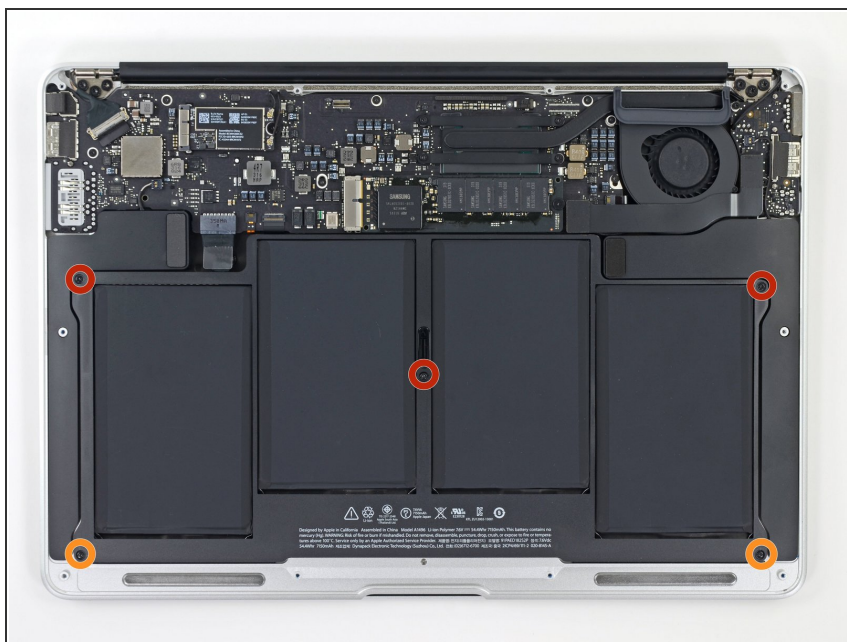


❗ 作業中に電源がオンにならないようにするには、バッテリーを外すことをお勧めします。

- バッテリーコネクタに取り付けられた透明なプラスチック製のプルタブを掴み、Airの前端に向かって引っ張り、バッテリーをロジックボードから外します。

⚠ コネクタの接続を外すときは、コネクタソケットにダメージを与えてしまう可能性があるためコネクタを上を持ち上げないでください。

手順 4 — バッテリー



- バッテリーを上部ケースに固定している次の5本のネジを外します:
 - 6.9mm T5トルクスネジ 3本
 - 3.0mm T5トルクスネジ 2本

手順 5

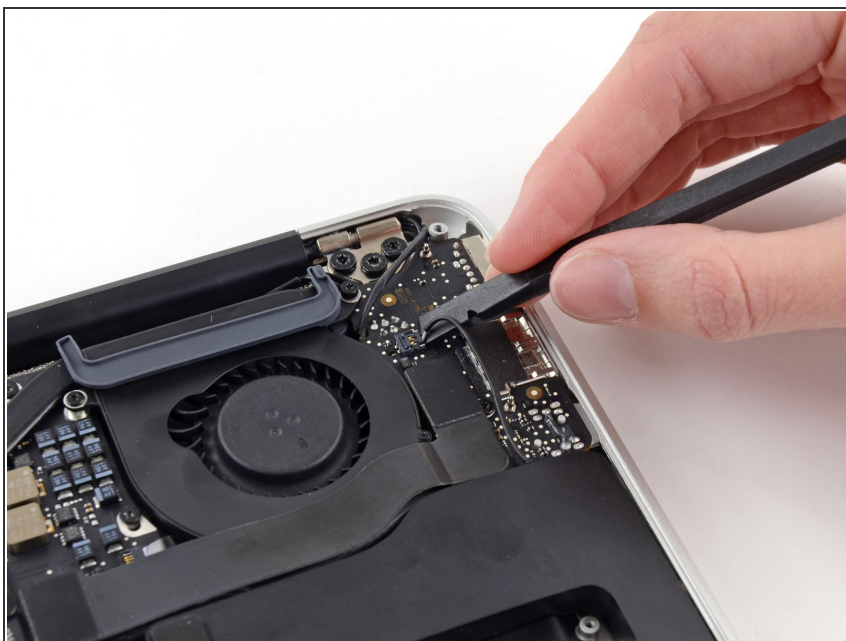


- ⚠ バッテリーを取扱う際は、露出した4つのリチウムポリマーセルを触ったり、掴まないようにご注意ください。
- ロジックボード側の端からバッテリーを持ち上げて、上部ケースから取り出します。
- ✦ 交換用バッテリーは、上部側にプラスチックフィルムが軽く貼られている場合があります。バッテリーを装着する際は、このフィルムを剥がしてください。ただしフィルムが剥がしにくい場合は、そのままの状態にしてください。

✦ この修理ガイドを完成したら、新しく装着したバッテリーの[キャリブレーション](#)を行なってください。

- 100%になるまで充電します。充電後も最低2時間はプラグを繋げたままにします。それからプラグを外して、通常通り使用しながら、自然に放電させます。バッテリー残量小のサインが表示されたら、これまでの作業を保存して、スリープ状態になるまで放置してください。スリープ状態に入ったら、少なくとも5時間置きます。それから一気に100%まで充電します。
- 新しいバッテリーを装着後、通常通り作動しない場合は、[MacBook ProのSMCをリセット](#)しなければならない可能性があります。

手順 6 — 左側スピーカー



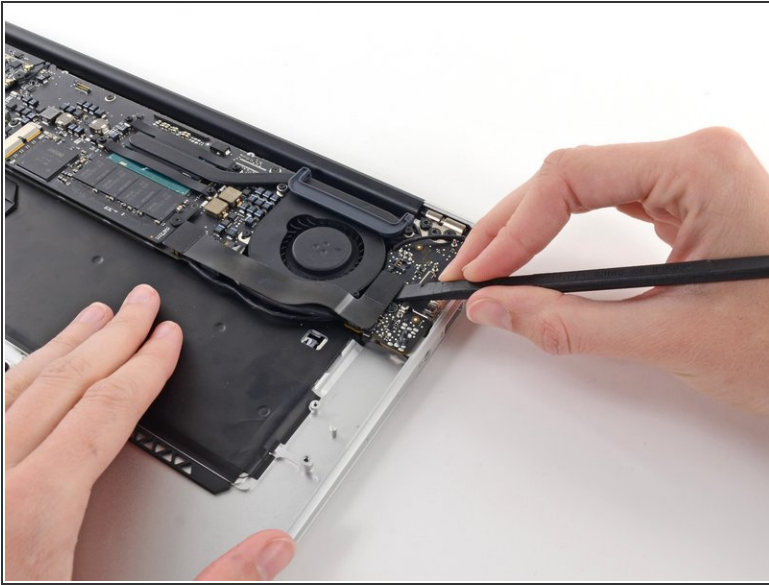
- スパッジャーの平面側先端を使って、I/Oボード上のソケットから左側スピーカーのケーブルコネクタを跳ね上げて外します。
- ① ワイヤの下から接続を外してください。

手順 7



- スパッジャーの平面側先端を使って、上部ケースに左側スピーカーを固定している接着剤から解放します。
- 上部ケースから左側スピーカーを取り出します。

手順 8 — マイクロフォン



- スパッツァーのフラットエンドを使用して、I/OボードケーブルコネクタをI/Oボードのソケットから跳ね上げて外します。
- ① I/Oボードケーブルを取り外す必要はありませんが、作業の邪魔にならないように曲げてください。
- ファン上部に固定された接着剤からI/Oボードケーブルを慎重に剥がしますが、完全に外さないでください。

手順 9

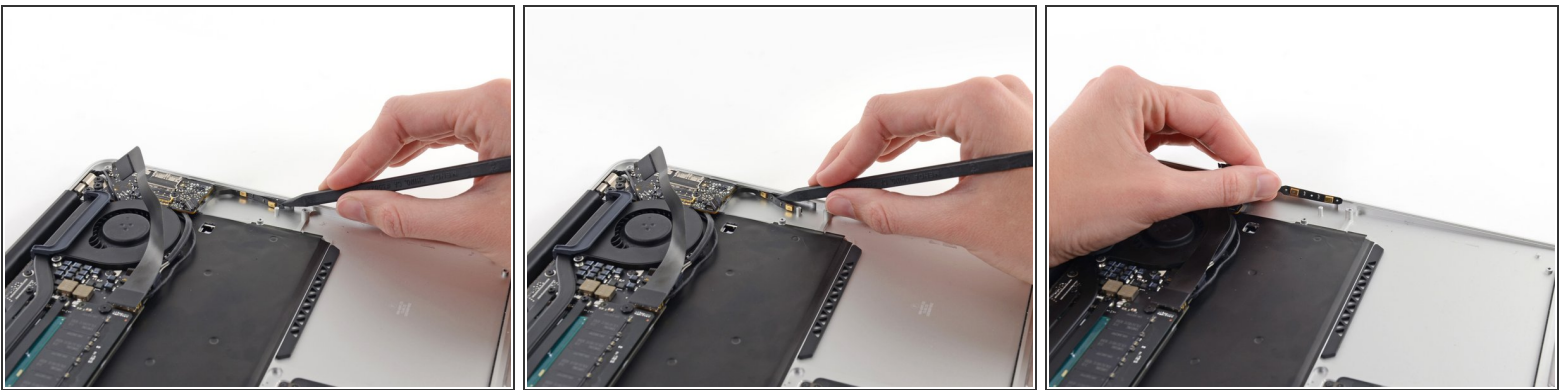


- スパジヤーの先端を使って、マイクロフォンのリボンケーブルZIFソケット上の固定フラップを丁寧に跳ね上げて外します。

⚠ ソケット自体ではなく、保持フラップを裏返していることを確認してください。

- マイクロフォンリボンケーブルをI/Oボードのソケットからまっすぐ、丁寧に押し出します。

手順 10



- スパジヤーの先端を使って、上部ケースの左側につけられた接着剤からマイクロフォンを解放します。
- 上部ケースからマイクロフォンを取り出します。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。

e-wasteを処理する場合は、[認可済みリサイクルセンターR2](#)を通じて廃棄してください。

修理が上手く進みませんか？まずは[ベーシックなトラブルシューティング](#)を試してみるか、このモデルの[アンサーコミュニティ](#)に尋ねてみましょう。